

Q：漢字が覚えられない児童が多く困っています。楽しく，効果的に覚えられする方法を教えてください。

A：漢字は，自分が表現する時に「使えるもの」として習得されていくことが大切です。従って，漢字だけを取り出して学習していくよりは，文中で使いながら習得していくのが理想的です。「字形を整えて正しく書くこと」「正しく読むこと」「漢字の持つ意味がわかること」この三つをバランスよく指導し，語彙として文脈で使えることを目指し，楽しく効果的な指導法を工夫していきましょう。

アドバイス：

①練習のさせ方を工夫しましょう

漢字の形と教科書や市販のドリル中での使われ方をひたすらノートに何回も書かせるやり方がよく行われています。これでは，漢字が違う使われ方をするととたんに書けなくなり，何よりも模倣に止まり思考を伴った習得にならず，応用発展できる力が育っていかないことが懸念されます。そこで効果的なのは，「文作り」です。ノート練習の中で漢字を使った文作りをさせていきましょう。漢字の使い方を変えながら，一文に，三つ以上の漢字を使って作らせていきます。慣れてきたら，一文の中で，習得する新出漢字を二回以上使って作る，などの条件を出していくこともできます。また，一つの漢字を一回の練習で終わらせるのではなく，時期をずらしながら数回繰り返すと，より確実な定着を図ることができます。

②集団学習を導入してみましょう

新出漢字を教師が一斉に指導し，そこから先は宿題で練習して終わる，という個人の学習に終始することが多く見られます。漢字学習を個人→集団学習にするための一つのアイデアとして提案したいのが「漢字先生」と「自作のテスト問題作り」です。

・漢字先生

新出漢字の指導を教師の代わりに子どもたちが分担して行うやり方です。児童は，自分の分担の漢字の読み方，筆順，部首や画数，意味の他，成り立ちや熟語，例文などその漢字に関する事を調べて説明します。（学年に応じてですが，漢字辞典を使わせませす）決まった大きさの紙にまとめさせ，しばらく教室に掲示したり，書き込み式のドリルを併用し，その場で練習をさせたりすることもできます。自分が担当した漢字は思い入れを持って覚えることは勿論，他の子にも「〇〇さんが発表した漢字だ」と印象付けることができます。

・自作のテスト問題作り

子どもたちが作った文を集めてテストを作ります。その際，誰が作ったのか名前を入れてあげると，子どもたちの意欲が高まります。次は自分の問題を採用してもらおうと，練習の文作りへの意欲も喚起されたり，他者理解にもつながったりする効果があります。できるだけ日常的な出来事を表した楽しいものを取り上げることで，本当に使えるものとして習得され，漢字を積極的に使おうとする意欲にもつながります。

※ 漢字辞典の使用もうまく取り入れていくとより効果です。